

金色に輝くトーチ
笑顔でともす聖火

(3月13日、東京2020オリンピック聖火展示
＝関連記事 24頁)



主な内容

所信表明&教育方針……………	2～3	小中学校スキー大会・スキー選手権大会……………	13
4月から始まる新規事業……………	6～9	山根小で3.11追悼集会……………	14
令和3年度九戸村役場組織機構図……………	10～11	伊保内高校卒業証書授与式……………	18

祝金の対象拡大、子育て支援センターおよび子育てサロン（仮称）の整備、未就学児からの課外体力づくりサークル創設を実施します。

■ 保健・福祉プロジェクト

日ごろの健康増進と疾病予防対策を行い、九戸村で安心して暮らすことのできる保健医療体制を整備し、高齢者や障がいのある人にも行き届く福祉の充実を図っていきます。

感染症などの予防対策として、保育園や学校、公共施設などの感染予防対策を強化。感染症予防ワクチンなどの接種を推進していきます。また、寡婦の医療費助成について、助成対象となる医療機関を村外の医療機関まで拡大し、女性のみを対象としていた寡婦の範囲を男性の寡夫も含むよう拡大していく考えです。

高齢化問題については、高齢者の社会参加の推進を図るため、住民主体の協議の場である「ご近所すけっ隊」による活動支援を続け、伊保内地区に活動拠点を整備。幅広い世代の交流と生活支援の母体を構築していきます。

■ 安全・安心プロジェクト

災害対策に万全を期し、災害時でも迅速な対応により住民の安全を確

保。事故や事件も少ない地域を目指し、安全・安心プロジェクトを推進していきます。

防災情報伝達方法の充実については、新しく導入する防災情報一斉送信システムにより電話やファクス、SNSを利用した伝達が可能となります。

■ 生活インフラプロジェクト

道路や橋梁、上下水道など公共インフラの保全計画を策定し、計画に沿った保全・補修・更新などを実施していくプロジェクトを推進します。

道路については、歩道未設置区間の早期の事業採択に向けて引き続き国や県へ強く働きかけていきます。また、公共下水道事業および農業集落排水事業の令和6年度からの公営企業会計への移行に向けた取り組みを今年度から着手。上水道事業については、向こう40年間の長期経営シミュレーションを盛り込んだ基本構想を策定しています。

■ 地域コミュニティプロジェクト

人口減少や高齢化の中でも地域コミュニティの活動を活性化し、余暇活動やボランティア活動を通じて、村内外の住民相互の交流や連携が図られるプロジェクトを推進して

いきます。

自治会を中心とした地域コミュニティを活性化するため、地域振興交付金制度の創設、役場職員の地域サポーター制度の見直しと充実、高齢者が集い見守る地域づくりの推進に取り組み、地域組織活性化の検討を進めます。

■ 住民協働・行政改革プロジェクト

住民や村内外の民間事業者との協働により、将来にわたって住民サービスを維持・強化していくためのプロジェクトを推進していきます。

自主財源の確保と併せて住民サービス向上を目的に納税しやすい環境整備を行うため、休日・深夜でも納税ができるコンビニ収納の令和4年度導入に向け、準備を進めて行く考えです。また、ナインズミーティングなど、広く村民の皆さんの声を聴きながら、新たな村づくりに反映させていきたいと考えています。

■ おわりに

多くの人が住みたい村、住み続けたい村の実現を目指して積極的な事業展開を進め、住民サービスの向上を図っていくため、村民をはじめとした皆さまのご協力をお願いいたします。

■ 学力向上

生涯学び続ける視点を大切にしたい授業づくりおよびその授業と連動する家庭学習の強化のため、各家庭と連携して事業を推進していきます。小学校の外国語教育推進については、小学校外国語活動補助員を配置し、小中連携に取り組みます。また、ICT教育の充実を図れるよう、プログラミング教育指導計画と併せて推進していきます。

■ 豊かな心と挑戦する心を育む教育

盛岡大学の学生支援によるスマイルサポート推進事業を実施。学校生活に潤いと豊かさや満足感を与え、学習への意欲が高まるよう取り組みます。不登校を含む不適応問題では、スクールカウンセラーなど専門員の指導により、一人一人の内面に寄り

添った指導を継続していきます。

■ 社会教育と生涯学習の充実

生涯学習の推進については、全村民が学びたい時に学べるように、これまでの女性教室、生涯学習アカデミー、公民館学級などを一まとめにした「学び処ないんずカフェ」で多様なニーズに応えられる魅力的な講座を実施します。また、九曜塾は今後も地域と学校が連携・協働して、子どもたちが九戸村に誇りを持ち成長するよう、地域学校協働活動の一層の推進を図ります。

■ 文化芸術の振興

史跡・天然記念物については、長期にわたり保存できるよう維持管理に努め、無形文化財は、伝統芸能の発表と鑑賞の機会を設け、その保存と継承活動を支援していきます。

■ スポーツの振興

生涯にわたりスポーツに親しみ、自らの健康を意識してもらう機会を設けながら、健康づくりに連動したスポーツ活動を推進していきます。

■ 国際交流事業

村国際交流協会との連携の下、県国際交流協会の指導と協力も仰ぎながら、当村における国際理解の啓発と多文化共生社会の実現に向けた取り組みを進めていきます。

■ おわりに

「誰もが住みたい・住み続けたい九戸村」には、ほかに抜きんできた教育環境の充実は欠かせません。持続可能で良質な学校教育・社会教育の運営に向け、今後とも村民をはじめとした皆さまのご協力をお願い申し上げます。



令和3年度 村長施政方針

村議会定例会は3月1日に議場で開かれ、晴山裕康村長が令和3年度の村政運営方針を述べました。ここでは、演述の概要をお伝えします。

■ はじめに

私が最も重要視する政策は、人口減少と少子高齢化対策です。産業振興、雇用対策、子育て支援、教育環境・生活環境整備、医療・福祉対策など、必要な政策をスピード感を持って推し進めていく体制を整える考えです。

■ 交流・発信プロジェクト

全国、さらには世界に発信し、知っていただき、訪れ、交流していただき、応援・参加していただき、実際に住んでいただく、関係人口・交流人口・定住人口の拡大に向けたプロジェクトを推進していきます。

交流拡大事業では、集客・交流イベントの充実や体験交流プログラムの実施、地域おこし協力隊の活用などを行います。情報発信事業では、

広報紙の充実、村内外の若者向けフリーペーパーの制作配布、SNSなどを活用し情報発信していきます。

■ 産業・雇用プロジェクト

村の産業を拡充し、村内で働く場を増やし、働き甲斐のある仕事を増やすことにより、定住人口の拡大と後継者の確保を図るプロジェクトを推進していきます。

雇用を拡大するため、村内企業・事業所の求人求職マッチング活動の支援、プロイラー事業者との連携強化、村ふるさと振興公社の経営改革による黒字化などを行います。また、農業については、次代の農業を担う多様な人材の育成や担い手に対する経営面での支援施策を講じていきます。そして、商工業の振興については、商工業者支援と個人消費の刺激

策を打ち出していきます。

■ 住宅・環境プロジェクト

村で働く人の多くが村内に居住し、村外で働く人も九戸村に住みたいと思える住環境と住み心地の良い街並みや自然環境などの整備を図るためのプロジェクトを推進していきます。

住宅整備を進めるため、未利用村有地・私有地、空き家の有効活用の推進、移住定住に係る結婚や空き家のリフォーム助成、村外への通勤手当の助成などに取り組みます。また、環境保全の取り組みでは、美しい自然環境を生かしたパークビレッジ構想策定の準備を進め、森林公園の再整備や廃棄物リサイクルの推進に取り組んでいきます。さらに、衛生環境に関しては、資源ごみを通年で回収できるリサイクルステーションの設置を計画しています。

■ 子育て・教育プロジェクト

九戸村で子どもを産み育てたいと思ってもらえるような充実した子育てサポート制度や親も子ども満足できる教育環境を整備し、支援するプロジェクトに取り組んでいきます。

子育て支援の分野では、村子ども手当制度創設やハッピーファミリー



令和3年度 教育行政方針

3月1日の村議会定例会で、岩淵信義教育長が令和3年度の教育行政推進の基本的な考え方と施策の概要について述べました。

■ はじめに

教育委員会においては、学校の新生活様式に対応した新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、児童生徒の健康・安全を第一に学びの保障などに取り組んでまいります。また、次代を担い地域の持続可能な発展に資する人材の育成に全力で取り組んでまいります。

■ 学校教育の充実

本村のこれからの学校教育の在り方について自由に論じてもらう教育懇談会を実施。村内各地区、各年代など広く意見をいただき具体案作成の参考とさせていただくとともに、その案についても村民の皆さんとともに検討し、議会にお諮りしたいと考えています。

■ 伊保内高校の支援

伊保内高校の入学者増に向け、これまで以上に中学校との連携を深め、村当局と連携して村内や管内だけでなく、広く県外募集に向けた高校の魅力化に向け取り組んでいきます。また、生徒の選択肢を広くする進路指導の充実や部活動・郷土芸能委員会への支援、制服購入助成などの手立てを講じます。

■ 教員の資質能力の向上

ICTを活用した教員研修やICTの活用研修など、現場のニーズに即した研修の充実に引き続き務めます。今後は、コミュニティースクール制度の趣旨を生かし、「九戸村学校カリキュラムマネジメント」による社会に開かれた教育課程に向けた学校経営の充実に努めていきます。

令和3年度当初予算

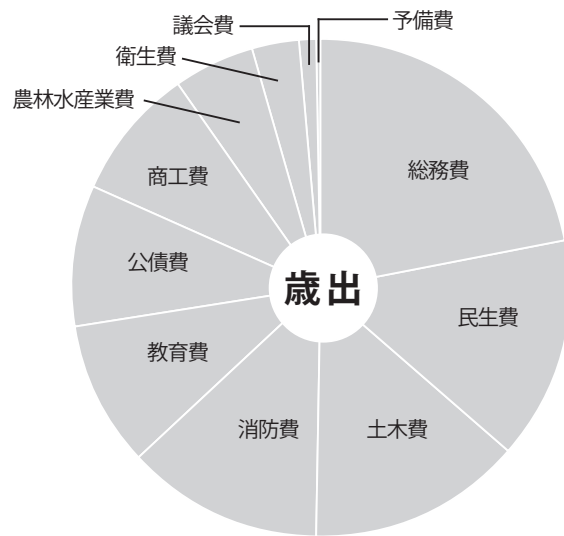
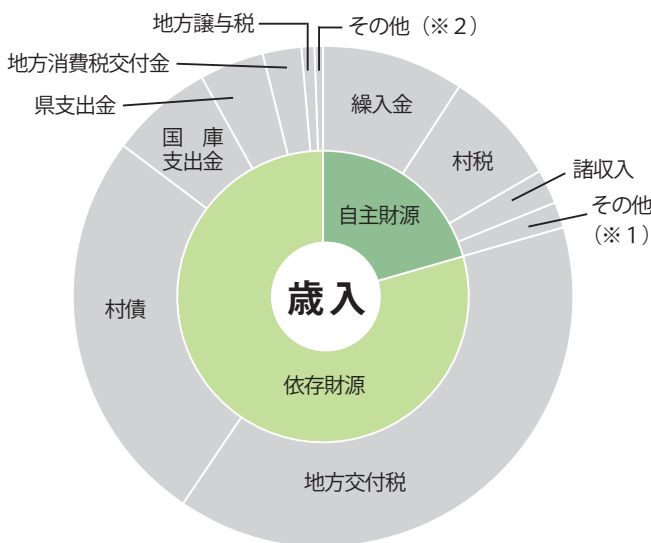
【問】総務課 (☎42-2111)

一般会計予算額

54億2,979万円

令和3年度の一般会計当初予算は、昨年度を14億9,711万円(38.1%)上回り、54億2,979万円。一般会計に特別会計や水道事業会計を加えた総予算は64億6,155万円で、昨年度より14億9,944万円(30.2%)の増となりました。

一般会計予算の歳入では、地方交付税が21億1,029万円で全体の38.9%(昨年度比8.8%増減)を占めてトップ。次いで、村債、繰入金、村税と続きます。一方、歳出は目的別にみると、総務費が11億9,206万円となり、全体の22.0%でトップ。次いで民生費が7億9,421万円(全体の14.6%)、土木費が7億5,540万円(全体の13.9%)などとなっています。



項目	予算額(万円)	構成比(%)	
自主財源	繰入金	5億999	9.4
	村税	4億623	7.5
	諸収入	1億1,442	2.1
	その他(※1) (使用料及び手数料・財産収入・寄附金・分担金及び負担金・繰越金)	8,521	1.6
	計	11億1,585	20.6
依存財源	地方交付税	21億1,029	38.9
	村債	14億648	25.9
	国庫支出金	3億7,095	6.8
	県支出金	2億2,340	4.1
	地方消費税交付金	1億3,116	2.4
	地方譲与税	5,674	1.0
	その他(※2) (法人事業税交付金・地方特例交付金・環境性能割交付金・配当割交付金・株式等譲渡所得割交付金・利子割交付金・交通安全対策特別交付金・自動車取得税交付金)	1,492	0.3
計	43億1,394	79.4	
歳入合計	54億2,979	100.0	

項目	予算額(万円)	構成比(%)
総務費	11億9,206	22.0
民生費	7億9,421	14.6
土木費	7億5,540	13.9
消防費	6億9,634	12.8
教育費	5億771	9.3
公債費	5億594	9.3
商工費	4億5,948	8.5
農林水産業費	2億7,979	5.2
衛生費	1億7,354	3.2
議会費	6,032	1.1
予備費	500	0.1
歳出合計	54億2,979	100.0

各会計別の予算と伸び率

(単位:万円)

会計名	令和2年度	令和3年度	伸び率	
一般会計	39億3,268	54億2,979	38.1% ↗	
特別会計	国民健康保険	6億2,092	6億1,379	1.1% ↘
	後期高齢者医療	6,305	6,672	5.8% ↗
	農業集落排水事業	3,644	3,769	3.4% ↗
	下水道事業	1億3,852	1億3,692	1.2% ↘
	索道事業	1,502	1,623	8.1% ↗
	戸田財産区	556	789	41.9% ↗
	伊保内財産区	657	689	4.9% ↗
江刺家財産区	478	465	2.7% ↘	
水道事業	1億3,858	1億4,098	1.7% ↗	
合計	49億6,211	64億6,155	30.2% ↗	

※端数処理の関係上、合計額と一致しない場合があります。

誰もが住みたい、住み続けたい九戸村を目指して 九戸 ナインズプロジェクト キュートな村の9つの挑戦がスタート

2021年から10年間の第3次九戸村総合発展計画が策定されましたので、その概要を紹介します。



全世代が住みやすい村へ



人口減少・少子化が九戸村の大きな課題

この10年で九戸村の人口は約1000人(16%)減少しています。特に15歳未満の年少人口と65歳未満の生産年齢人口がともに28%程度減少しており、担い手の不足など村内のさまざまな分野で影響が出ています。

このため、定住対策を一番の課題ととらえ、「誰もが住みたい・住み続けたい九戸村」を実現するため、9つのプロジェクト(ナインズプロジェクト)を推進します。

①交流・発信プロジェクト

全国に九戸村を知ってもらうための情報発信を強化します。そして、実際に本村に来てもらえる交流事業を展開し、関係人口・交流人口の拡大を図ります。また、村内のにぎわい創出も図ります。

②産業・雇用プロジェクト

村の産業を活性化し、村内で働く場所を増やします。そのため、村内立地企業との連携支援や特産品の開発と販路開拓、農林業の担い手対策を強化していきます。

③住宅・環境プロジェクト

村内の住宅整備を促進します。未利用地や空き家の活用を促進し、新築住宅や住宅リフォーム、公営住宅の整備を進めます。また、快適な生活環境を目指し、森林や公園の整備、廃棄物の適正処理を進めます。

④子育て・教育プロジェクト

村の少子化を食い止めるため、

出産や子育てを総合的に応援します。教育環境の整備充実にも取り組み、安心して子育てができる村を目指します。

⑤保健・福祉プロジェクト

高齢化が進む九戸村だからこそ、有償ボランティア制度や通院助成、障がい者助成など、人にやさしい村づくりを進めます。

⑥安全・安心プロジェクト

救急・消防体制の充実や災害・事故などの危険箇所を解消し、災害や事故などの少ない安全で安心な村づくりを進めます。

⑦生活インフラプロジェクト

今後、老朽化が心配される上下水道や道路・橋梁・公共施設などの長寿命化を図り、計画的な保全・更新などを進めます。

⑧地域活性化プロジェクト

人口減少や高齢化などにより地域活動の継続も心配されています。改めて、地域活動が維持され活性化されていくための方策を考えていきます。

⑨住民協働・行政改革プロジェクト

常に村民に開かれ、村民とともに

「九戸村の未来につなぐ基本条例」を制定

誰もが住みたい、住み続けたい九戸村を実現し、未来まで持続可能な九戸村としていくための基本条例が令和3年3月に行われた定例議会で承認されました。

本村を取り巻く情勢は決して楽観できないものではありませんが、村民の皆さまとともに、村の明るい未来を目指し、取り組みを進めていきます。

に推進する村政を目指します。また、行政事務を見直し、効率的かつ行き届いた行政サービスの向上を進めます。

令和3年度から開始する

新たな取り組みをご紹介します

第3次九戸村総合発展計画の策定により、「誰もが住みたい、住み続けたい九戸村」を目指すべく、村では令和3年度から、新たな取り組みを実施します。4月以降に実施される多種多様な取り組みを、4ページにわたって紹介。各ページでは、子育て応援事業や地域振興事業など22のポイントに分けてまとめています。

ポイント① 助っ人

地域おこし協力隊に8人着任

4 月から九戸村に地域おこし協力隊8人が着任します。20代から50代まで、遠くは東京、神奈川県、千葉などから着任する協力隊には、村の情報発信や販売促進、林業や伝統工芸の普及などに従事してもらいます。



伝統工芸などの普及に従事（地域おこし協力隊）

地域おこし企業人は3人着任

過

疎市町村に社員を派遣する総務省の「地域おこし企業人」制度を活用し、4月から料理教室を運営する株式会社ABCスタイルから2人、スポーツジムを運営する株式会社ルネサンスから1人の社員を派遣してもらい、特産品開発や料理教室、スポーツ教室などの企画運営を行います。

ポイント② 街の駅

街の駅まさざね館がリニューアル

4 月から伊保内商店街にある街の駅まさざね館に小笠原菓子店が新店し、お菓子やケーキ、コーヒーなどを提供することになりました。ぜひ、まさざね館でホットなひとときをどうぞ。

ポイント③ 道の駅

産直施設オドデ館のリニューアル工事始まる

道

の駅おりつめ産直施設オドデ館を拡張するためのリニューアル工事が、8月から始まります（完成は令和4年5月を予定）。工事期間中は仮設店舗で営業の予定です。また、テイクアウトのテナント店舗を募集します。（詳細は村ホームページまで）



8月からオドデ館をリニューアル工事（完成予想外観図）

ポイント④ 特産品

甘茶・山わさびの新規生産者を支援します



甘茶・山わさびの栽培支援（甘茶の花）

高 齢化により栽培生産者が減少している九戸村の特産「甘茶」と「山わさび」の新規栽培生産者を支援します。また、本村の特産品として、販路開拓を進めます。詳しくはJA九戸支所まで☎42・3111。

ポイント⑤

転入支援

新婚世帯・子育て世帯の転入支援

新 婚世帯が新たに村に転入する場合、住宅購入や家賃などの経費を助成します。また、子育て世帯が村に転入し空き家をリフォームする場合、最大300万円を助成します。子育て世帯が村に住んで他市町村に通勤する場合も通勤費を助成します。



美しい村を目指し環境整備（森林公園から見た折爪岳）

ポイント⑥

美しい村

森林公園を整備

多 くの人が訪れ楽しむ森林公園を目指し、本年度、樹木の伐採や植栽などを進め、美しい森林公園になるよう整備します。

ポイント⑦

リサイクル

リサイクルステーションを整備

資 源ゴミ回収専用のリサイクルステーションを村内3か所に整備します。

これにより、いつでも資源ゴミを片付けることができるようになります。

ポイント⑧

結婚祝

未来結び祝金

さ わやかハッピーファミリー祝金に代わって、結婚した夫婦1組に「未来結び祝金」10万円（従前5万円商品券）を現金給付します。

ポイント⑨

子育て応援

出産費用助成

新 生児の出産に伴う費用は健康保険から出産一時金として支給されますが、事情により出産一時金を超える経費がかかった人を対象に、村独自の出産費用助成が始まります。

すくすく赤ちゃん祝金

新 生児の誕生祝金も大きく充実します。「すくすく赤ちゃん祝金」の対象は第1子からで1人10万円を現金給付します。



子育てしやすい村になるよう整備（伊保内保育園児）



村独自の子ども手当を支給（ケーキ作り）

九戸村子ども手当

九 戸村に在住する中学生までの子ども全員に、村独自の子ども手当給付事業が始まります。年3回の国の児童手当支給時期に合わせ、対象児童の金融機関口座に月額2000円から4000円を振り込みますので、手続きお忘れなく。

ポイント⑩

体力づくり

未就学児からの基礎体力

小 学校入学前から小学校低学年の児童を対象に、成長途上の基礎体力づくり講習会が始まります。

ポイント⑪ **学び処**
とら

学び処「ないんずカフェ」

これまでの生涯学習メニューを一新し、若い世代にも楽しんで参加してもらえるように内容の充実を図ります。

ポイント⑫ **プール**

B&Gプールが生まれ変わる

本年度、B&Gプールの改修工事を行います。これにより、今よりきれいで使いやすいプールに生まれ変わります。



全世代に学びの場を提供（九曜塾で創作活動）

ポイント⑭ **伊保内高校**

魅力づくりに向けて支援

大きく6つの項目に分け、伊保内高校を支援。補習講座や夏期講習などによる進学・進路支援や奨学金の支援強化や制服補助などの通学者支援を行います。

ポイント⑮ **ボランティア**

拠点施設「ほずの家」オープン

活支援ボランティア「ご近所すけっ隊」の活動拠点施設「ほずの家」が伊保内商店街の空き店舗にオープンします。お困り事の相談も受け付ける予定です。

ポイント⑯ **障がい者支援**

難聴者への支援を充実

和2年度開始した難聴者を対象とする補聴器購入助成に加え、難聴児童を対象とする補聴器電池購入費助成を行います。

ポイント⑰ **通院支援**

村外への通院費用を助成

一 戸町行きバス路線の廃止などを踏まえ、県立一戸病院などへの通院タクシー費用を助成します。



九戸分署の庁舎施設を移設（完成イメージ）

ポイント⑱ **消防署**

九戸分署庁舎が新しくなります

一 戸消防署九戸分署の庁舎施設を九戸村伊保内に新たに整備します。令和4年2月に完成の予定であり、これにより消防・救急の対応がより充実します。

ポイント⑬ **教育環境**

小中学校などにエアコンを整備

九戸村の小学校・中学校すべてにエアコンを整備します。また、村の図書室にも整備し、暑い夏でも快適に学習できる環境づくりを進めます。

小中学校のデジタル化を推進

小 学校と中学校に電子黒板を整備し、デジタル化を推進します。



伊保内高校生の進学・進路支援などを実施

ポイント⑱ 防災情報

一斉情報配信サービスが開始

これまで災害情報や緊急情報など、役場防災無線で放送していましたが、これに加えて、スマートフォンやSNSや電話、ファクスでもお知らせするサービスを開始します。村外の人も受信可能ですが、事前登録が必要です。

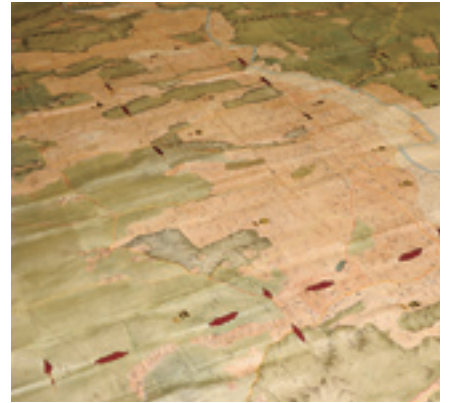
ポイント⑳ 橋りよう補修

高速道路高架橋りようの補修工事を実施

東 北自動車道八戸道の開通から20年以上が経ち、高速道路をまたぐ橋りようの老朽化に伴い、補修工事を開始します。



防災情報をスマホなどで配信



村史編さん作業を実施（古地図の一部）

ポイント㉑ 地域づくり

地域振興交付金制度を創設

地域の将来像や課題を踏まえ、地域の発展に向けた総合的交付金を支給する制度を創設します。ぜひ、この機会に地域コミュニティの新たな姿を模索してください。

ポイント㉒ 村史編さん

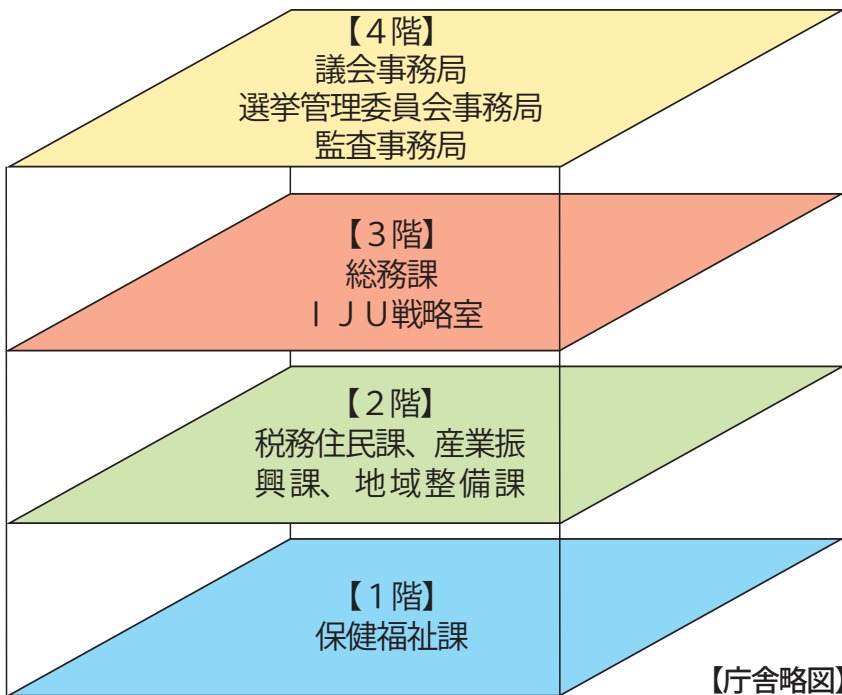
九戸村史の編さんを再開

中 世以前までとなっていた九戸村史の編さん作業を再開します。九戸村の歴史が改めて明確になります。

令和3年4月から

課名と庁舎内配置が変更

新たな第3次九戸村総合発展計画の実現に向け、実効性のある九戸村役場とするため、4月1日（木）から次のとおり役場の課名と庁舎内の配置が一部変更となります。令和3年度の九戸村役場組織機構図については、次のページをご確認ください。



【庁舎略図】

- 主な変更内容
- 保健福祉課 福祉関係の相談
- 税務住民課 住民登録、国保、納税関係の相談
- 産業振興課 農林、商工関係の相談
- 地域整備課 道路や橋、建設関係の相談
- IJU戦略室 IJU戦略室の相談
- IJU戦略室 移住定住や村営住宅などの相談

令和3年度九戸村役場組織機構図

(令和3年4月1日)

兼 兼務
 会 会計年度任用
 再 再任用
 新 新採用
 交 人事交流

村長 晴山 裕康

副村長 伊藤 仁

(産業振興課
（庁舎2階））

(税務住民課
（庁舎2階））

(IJU戦略室
（庁舎3階））

(総務課
（庁舎3階））

課長 中奥 達也
農政推進監 西野 誠

主係【産業育成係】 長 任 細川 祐介
 主係【生産振興係】 長 任 田澤 直樹
 主 主 主 主 主
 事 任 任 任 任
 柳下 嵩 南川 公太 桂川 祐太郎

課長 鳥谷部 真利子
課長補佐 鳥谷部 真利子

主係【国税徴収係】 長 任 向井 祐貴
 主係【国保住民係】 長 任 笹山 真利子
 主 主 主 主 主
 事 事 事 事 事
 櫻庭 和輝 觸澤 雪莉

室長事務取扱 伊藤 仁
参与事務取扱 岩淵 信義
移住定住担当課長 川原 憲彦
子育て支援担当課長 浅水 涉
担い手育成推進監 西野 誠

主係【定住環境係】 長 任 川原 憲彦
 主係【交流発信係】 長 任 佐藤 康輔
 主係【子育て支援係】 長 任 高松 皇輝
 係【産業育成係】 長 任 関端 祐介
 係 長 任 下高山 朋徳
 主 主 主 主 主
 事 事 事 事 事
 関口 麻輝 阿部 杏祐 大谷 鈴音

課長 大向 一司
課長補佐 柳平 善行

係【予算管理係】 長 任 柳平 善行
 係【地域防災係】 長 任 坂下 守男
 主 主 主 主 主
 事 任 任 任 任
 高倉 拓真 瀬川 友樹 大崎 篤史

支所 戸田支所長 東井 稔
 支所 江刺家支所長 中村 学

派遣等

二戸広域事務組合

主幹 玉川光彦

社会福祉協議会

事務局長 橋本幸子

県北広域振興局

主任 岩淵信毅

水道事業所
(庁舎2階)

所長 上村浩之

主係
主係
任任長
【上下水道係】

下村龍一
野地龍
小野寺隆

議会議事事務局
(庁舎4階)

事務局長 大久保勝彦
局長補佐 野地利之

教育長 岩淵信義

教育委員会
(公民館1階)

次長 坂野上克彦
補佐 松浦拓志

係長
指導主任
【教育総務係】
主任
【生涯学習係】
係長・文化財管理監

松浦拓志
小林龍
蒲田諒介
大畑明
斉藤英諒

主任 横井俊祐
主任 下澤奈々花
主任 山本猛輝

ひめはたるこども園

園長 上山恵子

主任 西野啓樹

小笠原直樹

主任 関畑梢

伊保内保育園

園長 古舘英一

主任 櫻堀祐子

堀野直恵

保育士 湯川佳奈

戸田保育園

副園長 高倉哲一

主任 岩上真由美

村上直樹

主任 小野寺愛

保健福祉課
(庁舎1階)

課長補佐 浅水涉

主任 中横河下
主任 保井村高山
主任 健井村侑朋
主任 健山信香乃德

小野寺さゆり
久保太毅

主任 関本歩美
主任 皆川裕哉
主任 桂川恭輔
主任 保井信幸

地域整備課
(庁舎2階)

課長補佐 篠山剛

主任 篠山秀昭

八重樫秀昭

主任 桂川通仁

検診を受けてがん予防 & 早期発見

胃がんは早期では自覚症状がないことが多いですが、早期発見をすれば経過良好で、ほぼ治すことができます。検診を受けて胃がんの予防・早期発見に努めましょう。

● 検診に関する問い合わせ ●
保健福祉課 (☎ 42-2111)

■対象者

40歳以上（令和3年4月1日現在）

※勤務先で同検診がある場合は、そちらで受診しましょう。

【胃がん検診を受診できない人】

● 現在妊娠中、妊娠している可能性がある

● 胃・十二指腸の切除手術をした

● 胃疾患で定期的に検査を受けている

● 過去にバリウムによるアレルギー反応をおこしたことがある

● これまでに腸閉塞・腸管憩室炎をおこしたことがある

● バリウムを飲んだために気管支炎・肺炎で治療を受けたことがある

● 腎不全で透析中や心不全の薬を内服中で水分制限をしている

● 2日（検査前日、前々日）以上便通がない（便通が改善された場合は検査可能）

● これまでに医師からクローン病や潰瘍性大腸炎と言われたことがある

● 体力的に検査に不安のある人および飲食でむせやすい人

● **■受検時の注意**

● 検査前日の夕食は、おおむね午後9時ごろまでに済ませてください。

● 検査当日は検査終了まで絶食です。（検査2時間前まではコップ1杯200ミリ程度の水は飲用可能です。また、心臓病や高血圧薬を服用している人は、検査2時間前までに内服してください。）

● お酒を飲んだり、タバコを吸ったりしないでください

● **■検診料** 1300円

● ※住民税非課税世帯と70歳以上（令和3年4月1日現在）の人は無料です

● 検査当日は検査終了まで絶食です。（検査2時間前まではコップ1杯200ミリ程度の水は飲用可能です。また、心臓病や高血圧薬を服用している人は、検査2時間前までに内服してください。）

● 検査当日は検査終了まで絶食です。（検査2時間前まではコップ1杯200ミリ程度の水は飲用可能です。また、心臓病や高血圧薬を服用している人は、検査2時間前までに内服してください。）

● 検査当日は検査終了まで絶食です。（検査2時間前まではコップ1杯200ミリ程度の水は飲用可能です。また、心臓病や高血圧薬を服用している人は、検査2時間前までに内服してください。）

● 検査当日は検査終了まで絶食です。（検査2時間前まではコップ1杯200ミリ程度の水は飲用可能です。また、心臓病や高血圧薬を服用している人は、検査2時間前までに内服してください。）

検診日程

日にち	会場	対象地区	受付時間
4月5日 ①	江刺家ふるさとセンター	田代、柿の木、丸木橋、山屋、細屋	午前6時 ～午前8時
6日 ②	村老人福祉センター	平内、妻の神、戸田上・下、戸田館の下、山根	
7日 ③	江刺家ふるさとセンター	江刺家上・下、道地	
	村保健センター	荒谷、二ツ家、鹿島	
8日 ④	村保健センター	川向、南田、小倉	
9日 ⑤	宇堂口地区農村婦人の家	瀬月内、宇堂口、泥の木	
	長興寺银杏会館	長興寺上・下、大向、五枚橋、荒田、雪屋	
11日 ⑥	村保健センター	伊保内上・下、休日希望者	

※検診の混雑を防ぐため、地区ごとに検診日を指定しています。指定日に都合がつかない場合は、上記いずれかの日程に受診してください。

小中学校スキー大会 & 村スキー選手権大会

小中学校スキー大会と村スキー選手権大会は2月21日に、村営くのヘスキー場で開かれ、選手は練習の成果を発揮し、好タイムを目指しました。各部門で1位を記録した人を紹介します。(敬称略、カッコ内は所属名とタイム)

小中学校スキー大会

- 小学校1年
【女子の部】 鈴木綺夏(長興寺小 3分17秒78)
- 【男子の部】 坂下誉澄(戸田小 50秒33)
- 小学校2年
【女子の部】 高倉亜胡(戸田小 54秒78)
- 【男子の部】 柳下宙斗(伊保内小 50秒30)
- 小学校3年
【女子の部】 觸澤志奏(戸田小 1分23秒56)
- 【男子の部】 山本蒼大(山根小 48秒46)
- 小学校4年
【女子の部】 安堵城心々花(戸田

練習の成果発揮 好タイム目指す



表彰台で笑顔を見せる選手たち

- 小 1分07秒49)
- 【男子の部】 高岡哲平(伊保内小 56秒62)
- 小学校5年
【女子の部】 山本柚花(戸田小 1分05秒17)
- 【男子の部】 関端永真(伊保内小 1分22秒56)
- 小学校6年
【男子の部】 下條道凜斗(江刺家小 47秒43)
- 中学校
【男子の部】 松澤來也(九戸中 41秒01)

村スキー選手権大会

- 小学校1・2年
【女子の部】 佐藤莉奈(浄法寺スキースポーツ少年団 39秒79)
- 【男子の部】 福山煌晶(新郷ジュニアレーシング 33秒51)
- 小学校3・4年
【女子の部】 高倉ゆず(戸田小 1分13秒99)
- 【男子の部】 山本蒼大(山根小 48秒46)
- 一般50歳以下
【男子の部】 駒木厚介(二戸シーハイル 41秒36)
- 一般51歳以上
【女子の部】 尾友則子(無所属 1分18秒12)
- 【男子の部】 石川裕之(三菱製紙スキー 42秒29)

村営くのヘスキー場感謝デー 楽しいひととき仲間とともに



ついた餅はおしるこなどで販売されました

村営くのヘスキー場感謝デーは2月27日に、同スキー場で開かれ、村内外から多くのスキーヤーが来場。家族や仲間と楽しいひとときを過ごしました。

感謝デーでは、リフトの無料開放やスノーモービル乗車体験、餅つき大会などのイベントを実施。スキーの滑走音や家族や仲間とイベントを楽しむ声が場内に響きました。



真剣に聞き入る児童と教える和田先生（丸枠内）

地 山根小で 3.11 追悼集会 地震の怖さを未来へ継承

3.11 追悼集会は3月11日に山根小学校で開かれ、東日本大震災の怖さを語り継ごうと、震災について学びました。

はじめに児童たちは、午後2時46分のサイレンとともに黙とう。犠牲者の冥福や復興を祈りました。その後、津波に関することや原子力発電所の事故など、震災当時のことを先生から聞きました。また、避難するための事前準備の大切さや自分ができることは何かを考えました。

白 保大木さん・南さん 99 歳に 寿祝い顔をほころばせ

保大木タキさんの99歳のお祝いは、3月2日に折爪荘で開かれ、保大木さんの家族や施設職員などから祝福の聲が上がりました。また、南キヨさんの白寿祝いは3月20日に山屋の自宅で行われ、お祝いを受けた南さんは「ありがとうございます」とお礼していました。

当日は晴山裕康村長も訪れ、それぞれに花束と祝金を手渡し祝福。白寿を迎えた2人は笑顔になっていました。



白寿を迎えた保大木さん⑤と南さん



自衛隊に入隊する湊太さん（前列左2）翔太さん（前列右2）

信 自衛隊入隊者表敬訪問 頼られる自衛官目指す

自衛隊入隊予定者による晴山裕康村長への表敬訪問は2月25日に開かれ、本村戸田出身の平糠湊太さん（18）と平糠翔太さん（同）が村役場村長室を訪れました。

湊太さんは「周りから信頼される自衛官を目指したい」翔太さんは「仲間とともに訓練に励み、立派な自衛官になりたい」と抱負を語りました。2人は陸上自衛隊一般曹候補生として、多賀城駐屯地に入隊します。

2 着ぐるみお披露目会 体のキャラが村をPR

神楽舞とまさぎねくんの着ぐるみお披露目会は、3月16日にHOZホールで開かれ、かわいらしいデザインの2体のキャラクターが披露されました。

伊保内高校生が製作に携わり、同校2年の戸田好音さんと皆川友佳さんがデザインの選考を行いました。2人は「できるだけ原案に近いデザインを選んだ。九戸村を県外の人にも知ってほしい」と話しました。



披露されたまさぎねくん⑤と神楽舞⑥

高齢者の施設サービスって何があるの？

介護が必要になった場合、介護申請をして介護度を決定し、介護サービスを利用することができません。介護保険適用のサービスには、自宅で受けるサービスと施設で受けるサービスがあります。今回はその中でも、施設に入所して受けられるサービスについて、紹介します。

①特別養護老人ホーム(特養)

特別養護老人ホーム(通称「特養」)の入居基準は、要介護3以上(要介護3とは自力での立ち上がりや歩行が困難である、ひどい認知症状があるなどの状態)となっています。主に食事・排せつ・入浴などの身体介護、リハビリやレクリエーションなどのサービスが提供されます。入居の順番は申し込み順ではなく、介護度以外に家族状況なども考慮して必要度が点数化され、緊急度の高い人が優先されます。近隣では折爪荘(九戸村)、いちい荘(軽米町)、くつろぎの家

(同)などです。金額の相場は、月額費用で6〜15万円、食費や部屋代については所得に応じた負担軽減を受けられます。

②介護老人保健施設(老健)

介護老人保健施設(通称「老健」)は、病院と自宅の中間的な位置づけで、退院後すぐの自宅での生活が難しい要介護1以上の人を対象に、自宅生活への復帰を目指す施設です。食事・入浴・排せつなどの身体介護、医師・看護師による医療的管理、リハビリテーションなどが提供されます。近隣では、花の里かるまい(軽米町)、湯の里にのへ(二戸市)、アットホームくずまき(葛巻町)などです。費用の相場は、9〜15万円前後です。食費や部屋代については特養と同様に所得に応じた負担軽減を受けられます。

③グループホーム

要支援2以上の認知症高齢者が入居できる施設です。5〜9人をユニットとする少人数制で、専門スタッフから介護サービス、機能訓練など

を受けながら、料理や掃除などの家事を分担し共同生活を送ります。近隣では、グループホームおりつめ(九戸村)、グループホーム花の里かるまい(軽米町)などです。費用の相場は、10〜15万円前後です。



④介護付き有料老人ホーム

介護が必要になったときに、そのホームのスタッフがサービスを提供する施設です。有料老人ホームは、自立・要支援・要介護の人が入居でき、生活支援や健康管理、レクリエーションなどを受けられる施設です。介護が必要になった場合は、ヘルパーやデイサービスなどの在宅サービスを

利用することになります。費用の相場は、15〜35万円前後になります。

今回紹介した施設は一部であり、金額も参考程度です。

地域包括支援センターには、二戸管内の医療・介護に関する施設のマップが常設されています。関心のある人は、ぜひお気軽にご相談にきてください。

(保健師 河村 侑乃)

地域リハビリ教室を開催

退院してからリハビリがなくて心配と感じていませんか？

リハビリ専門職(理学療法士)によるリハビリ教室を開催します。

●日程 月2回 午前10時〜正午

●場所 村保健センター

●対象者 年齢制限なし

▼指導されたリハビリに自宅で取り組める人

●内容 理学療法士による個別リハビリと自宅でできる運動の指導

●費用 無料

●定員 4人

●申し込み・問い合わせ 村地域包括支援センター(☎42・2111)

生涯学習アカデミー×女性教室×九曜塾×公民館学級 「学び処ないんずカフェ」として刷新

◆学び処ないんずカフェとは？

現在の生涯学習アカデミー、女性教室、九曜塾、公民館学級を総称し改めたものです。

◆どこが変わったの？

生涯学習アカデミー、女性教室、九曜塾については、従来の在り方を継承しながら、新たな受講内容を検討し、魅力ある教室を目指します。

公民館学級は従来、年に一度4月当初に各教室の受講生を募集し、年間を通して事業を進めてきましたが、学び処ないんずカフェでは「ラーニング（学び）講座」として、4つのカテゴリに分け、「老若男女・どなたでも・いつでも・気軽に」参加できる学び処を目指していきます。

◆どんなことができるの？

で き る こ と	生涯学習アカデミー (高齢者対象)	★同世代や女性のみで活動できる ★自然体験や歴史文化学習、創作活動を開設 ★生きがい発見の場
	女性教室 (女性対象)	★気軽な語り場
	九曜塾 (村内小学生対象)	★村内の同世代の友達と行う創作やいろいろな体験活動を開設 ★仲間づくりができる
	ラーニング講座 (旧公民館学級)	★4カテゴリの講座を開設 ★村内外、年齢など関係なく、老若男女・どなたでも・いつでも・気軽に参加できる

◆ラーニング講座のカテゴリーは？

創作	健康・スポーツ	クッキング	教養・娯楽
----	---------	-------	-------

5月からスタートする上記4つの講座は、初めての人も大歓迎です。

詳しくは、ないんず通信（チラシ）を見て、参加したい講座に申し込みをお願いします。

◆申し込み・問い合わせ

村公民館へ申込用紙を持参するか電話（☎ 42-2111）またはファクス（0195-41-1010）で申し込み。

野良犬の値段

百田 尚樹 著／幻冬舎



突如としてネットに現れた謎の「誘拐サイト」。いたずらなのか事件なのか半信半疑の警察・メディア・ネット住民。日本全体を巻き込むかつてない「劇場型誘拐」が、日本社会に命の値段を問いかける。

Au オードリー・タン

アイリス・チュウ 著／文藝春秋

新型コロナウイルスが席卷する中、いち早く「マスクマッチアプリ」を開発し、世界に名をはせた台湾のデジタル担当相には逸話が多い。

IQ180で学歴は中卒、トランスジェンダー。時代に選ばれた新しい天才を徹底解剖する。



スマホ脳

アンデシュ・ハンセン 著／新潮新書



平均で1日4時間。若者の2割は7時間も使うスマホ。だが、IT企業のトップたちは我が子にデジタルデバイスを与えないという。なぜ？睡眠障害・うつ・記憶力や集中力・学力の低下。依存症。最新研究が明らかにしたのは脳が確実にむしばまれていくという現実だ。

ぼくはなきました

くすのき しげのり 作／東洋館出版社

授業参観日に自分の「いいところ」を発表することになったぼく。いくら考えても友だちのいいところしか思い浮かばない。ぼくにはいいところなんてないんだ。泣きそうになったぼくに、先生が…。



○開館時間／平日9時～19時・土日祝9時～17時
○休館日／年末年始



4月1日から村公民館図書室がリニューアル。主な変更点をお知らせします。

■貸出冊数・期間

【貸出冊数】 1人5冊（従来は3冊）

【貸出期間】 4週間（従来は3週間）

■開館時間

【4月～10月】 平日 午前9時～午後7時

【11月～3月】 平日 午前9時～午後6時

【年間】 土日祝 午前9時～午後7時

※本年度から冬時間が設けられます。

■休館日の設定

【お盆期間】 8月13日～16日（従来どおり）

【年末年始】 12月29日～1月3日（従来どおり）

【蔵書点検休館日】 4月・7月・10月・1月 4回設定

■空調設備（エアコン）の設置

■屋外ブックポスト設置

借りた本をポストに入れるだけで、時間外でも返却が可能になります。

■キッズスペース設置

■問い合わせ

村公民館事務室（☎ 42-2111）

九戸の魅力を全世界へ！ 魅せるんジャー通信

Vol.6

令和2年9月、九戸宣隊★魅せるんジャーが結成されました。若い力で九戸村の魅力を村内外のみならず、全世界に発信していきます！

▽第48回卒業証書授与式 新天地への門出を祝福



卒業証書を受け取る卒業生

伊保内高校の卒業証書授与式は3月2日に同校体育館で開かれ、卒業生30人とその保護者、教職員などが参加。新天地への門出を祝福しました。卒業証書授与では、担任の金澤篤彦先生が卒業生の名前を一人ずつ呼名。生徒はそれに応えるように大きく元気な声で返事をしました。高橋良一校長から卒業証書を手

渡されると、まっすぐ前を見つめ頭を下げていました。

高橋校長は「人生の節目において、お世話になった多くの方々に感謝の気持ちを生涯忘れないでほしい。今度は今まで受けた恩を返し、さらに次の世代に対して恩を送ることができる人間になつてください」と応援する式辞を述べました。

また、皆勤賞や部活動功労賞を受賞した生徒に賞状が贈られました。そして、2年の森太久斗たくとさんが送辞を、卒業生の古館瞳花とむかさんが答辞を読み上げました。

卒業式終了後には卒業生から今まで育ててくれた保護者に手紙が手渡され、「今日までありがとう」「これからも頑張ります」などと感謝の言葉を贈っていました。



↑「愛するということ」をテーマに講演
生徒から寄せ書きを受け取る高橋校長↓



▽高橋良一校長による講話

自分を愛し 人を愛する

定年退職を迎える高橋良一校長による講話は、3月5日に伊保内高校で行われ、1、2年生45人に「愛するということ」を主題に講話をしました。

高橋校長は、ドイツの哲学者エイリッヒ・フロムフロムの「愛の本質は愛することであることではない」という言葉を引用し、「人を愛することは、自分の全存在をかけて与えること」と話しました。また、「自己愛」について

語り、「自分を深く愛してほしい。そうすれば、ほかの人を愛することができる。相手を想うことはとても尊いこと」と生徒に熱弁しました。

千葉彩愛あやなさん（1年）は「自分が犠牲になっても相手を守りたいと思うことが本当の愛と聞いていたことが印象に残った。他人を愛することを大切に、自分の命も大切にしていきたい」とこやかに話しました。

▽伊高むらおこし会社設立総会 若い力で九戸を元気に

伊高むらおこし会社設立総会は、2月24日に伊保内高校視聴覚室で開かれ、代表取締役の晴山裕康村長や役員・社員となる1、2年生45人が出席。若い力で九戸村を元気にすることを誓いました。総会では、生徒役員の選任や、今後の日程などが

決定されました。

社長となった森太久斗さん（2年）は、「しっかりと計画を立て、期待に応えられるように頑張りたい。自然で遊べる場所やおいしい食べ物があるので、村外の人にも知ってもらいたい」と笑顔で話しました。



生徒役員となった1・2年生

▽ナインズミーティングII 教育環境に活発な意見

ナインズミーティングIIは2月22日に伊保内高校視聴覚室で行われ、岩淵信義教育長と1、2年生45人が村の教育環境についての意見交換をしました。

◎生徒の意見（一部抜粋）
▼村のためにボランティア活動や村の活性化のため

めに頑張りたい▼少子高齢化・人口減少対策に向けて、みんなで考えなければならぬと感じた▼伊保内高校の良さを他県の人にも伝えたい▼高校生だからできることを考えて、村に積極的に案を出していくことが大切だと思った



相談し意見を出し合う生徒



▽2年生カーリング教室 基本動作を体験し習得

カーリング教室は2月24日、県北青少年の家で行われ、2年生20人が参加。カーリングの基本動作などを体験しました。カーリングを体験・習得することで、健康意識啓発への一助とすることを目的に行われました。



カーリングの動作を学ぶ生徒

離任する先生を紹介



高橋 良一 校長
(3年在職=定年退職)



石川 千枝 先生
(7年在職=平館高校)



鶴嶋 広喜 先生
(7年在職=久慈工業高校)



佐藤 賢 先生
(1年在職=退職)

「胃がん」ってどんな病気？

4月5日から胃がん検診が始まります。皆さん「胃がん」はどんな病気か知っていますか？

今回は胃がんについて説明したいと思います。

◆胃がんの原因は？

胃がんの原因についていくつものリスクが指摘されていますが、中でもヘリコバクターピロリ菌の持続感染と喫煙や食生活などの生活習慣などが、胃がん発生のリスクを高めると言われています。また塩分の多い食品の過剰摂取や、野菜・果物の摂取不足が指摘されています。

ピロリ菌の感染率は中高年で多く、若年層では近年低下傾向にあります。ピロリ菌に感染した人のすべてが胃がんになるわけではありませんが、ピロリ菌陽性者は陰性者に比べてその後発生する胃がんのリスクが5倍以上と言われています。ピロリ菌に感染している場合は、医療機関で除菌の治療を受けることができます。

◆**がんは早期発見・早期治療が大切**
胃がんをはじめ、がんは自覚症

状がないうちに「早期発見・早期治療」することが非常に大切です。胃がんの場合、初期段階で発見できれば胃切除を行わず、内視鏡（カメラ）による治療で済む場合があります。

◆**胃がん検診って何をやるの？**

村の胃がん検診では、胃X線検査（バリウム検査）を行います。バリウムを飲んで胃の形や粘膜などの状態をX線写真で確認する検査で、途中で発泡剤を飲んで胃を膨らませます。



がん検診を「面倒」「どこも痛くない」などの理由で受診されない人もいますが、先ほど説明した通り、がんは自覚症状がないうちに早期発見・早期治療をすることで、胃がんは治る病気になりつつあります。これからも元気に過ごすためにも、がん検診を受けましょう。

（保健師 横井 信香）

国保の資格取得と資格喪失

国民健康保険（国保）は、会社などの健康保険や後期高齢者医療制度に加入している人、生活保護を受けている人を除く全員が加入する制度です。

就職して会社などの健康保険に加入、または、退職して離脱したときや国保に加入している人の住所や世帯主が変わったときは、役場での手続きが必要となります。

◆資格が異動したら届け出を

他の市区町村に転出したときや会社などの健康保険に加入したとき、修学による特例や対象施設へ入所して住所の特例の該当要件を満たさなくなったときには、その旨の『届け出』と『国保の保険証を返す』手続きが発生します。

手続きをせず国保の資格が無くなってからも、国保を使用して保険医療機関を受診する人がいます。その場合、本来、自分が加入している保険でその給付が行われるべきですから、国保が給付した医療費を返還してもらいます。また、資格を喪失していないことで国保も賦課されたままになりま

す。そうならないためにも、国保の資格に異動が生じたら役場にすぐに届け出て正しい保険証を使いましょう。

◆保険証は大切に

保険証は、保険医療機関を受診するときに必要となる大切なものですから大切に保管しましょう。また、万が一、紛失したときには、役場の窓口へ届け出て再交付を受けてください。

◆主な異動事由と必要書類

国保に加入するとき	持参するもの（印鑑のほかに）
転入してきた	転出証明書
会社の健康保険をやめた	会社の健康保険をやめた証明書
生活保護を受けなくなった	保護廃止決定通知書
国保をやめるとき	持参するもの（印鑑のほかに）
転出するとき	国保の保険証
会社の健康保険に加入した	国保と会社、両方の保険証
その他	持参するもの（印鑑のほかに）
修学のため別に住所を定める	国保の保険証、在学証明書

国民年金保険料を納めましょう

令和3年4月から翌3月分までの国民年金保険料は、月額「16610円」です。保険料は、日本年金機構から送られる納付書により、金融機関・郵便局・コンビニで納めることができ、便利でお得な口座振替もあります。保険料が未納のまま放置されると、万が一のとき障害基礎年金や

遺族年金を受けられない場合がありますので、早めの納付をお願いします。納付が困難な場合に免除・猶予される制度や、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した場合の免除・猶予の特例措置もあります。役場の国民年金窓口や年金事務所にご相談ください。

消防署たより

①二戸消防署九戸分署 ☎ 42・3119

山火事防止運動月間は5月31日まで

◆山火事防止運動統一標語

「あなたです 森を火事から 守るのは」

3月1日から5月31日までは、山火事防止運動月間です。空気が乾燥し、山火事が多く発生する季節になりました。火の取り扱いには十分注意しましょう。

◆山火事防止運動重点事項

- ①たき火をしたらその場を離れず、完全に消火すること。
- ②たばこの吸い殻は、投げ捨てないこと。
- ③火遊びはしないこと。

村内の火災・救急（1月分）

区分	件数	1月から累計	前年比
火災	1件	1件	+1件
救急	22件	22件	+4件

春の全国交通安全運動の実施

【運動期間】

4月6日（火）～15日（木）

【運動重点】

- ◎子どもと高齢者をはじめとする歩行者の安全確保
- 歩行者の交通ルール遵守の徹底
- 歩行者の安全の確保
- ◎自転車の安全利用の促進
- 自転車利用時の安全確保
- ◎安全運転意識の向上
- 運転者の交通ルールの遵守
- 高齢運転者の交通事故防止
- 全座席シートベルト着用
- ◎飲酒運転の根絶
- 飲酒運転をさせない環境づくり
- 飲酒運転根絶の気運醸成

◆春の地域安全運動の実施

4月6日（火）～15日（木）

【運動重点】

- ◎子どもと女性の安全確保
- 声掛けやつきまといなど、子どもや女性が被害に遭う事案が発生しています。登下校時間帯に合わせて通学路を散歩するなど、見守り活動へのご協力をお願いします。
- ◎特殊詐欺の被害防止

昨今、犯人グループは警察官などをかたり「キャッシュカードの更新が必要だ」などのウソの電話をかけ、お金やキャッシュカードをだまし取っています。被害防止のため、在宅時でも留守番電話に設定し、犯人からの電話を直接受けられないようにしましょう。

◎鍵かけの励行
令和2年中、県内で発生した侵入窃盗のうち、鍵をかけないで被害に遭った割合が5割を超えました。また、自動車や自転車の盗難被害の多くは鍵をかけずに被害に遭っています。油断せず、鍵かけの励行に努めましょう。

村内の交通事故（2月分）

区分	件数	1月から累計	前年比
人身事故	0件	0件	±0件
物損事故	21件	36件	+17件
負傷者	0人	0人	±0人
死亡者	0人	0人	±0人
飲酒運転者 飲酒運転者	0人	0人	±0人

◎村の交通死亡事故ゼロ日数…1023日
(2月28日現在)



経済センサス調査に協力を

総務省と経済産業省は、令和3年6月1日現在で「令和3年経済センサス-活動調査」を実施します。

この調査は、全国すべての事業所や企業が対象で、日本の事業所・企業の経済活動を全国的・地域別に明らかにすることなどを目的としていますので、調査へのご理解・ご回答をよろしくお願ひします。

■注意喚起

経済センサスに便乗した不審な電話や訪問にご注意ください

■問い合わせ

総務課統計調査担当（☎ 42-2111）

障がい者スポーツ大会参加選手募集

■日時 6月5日（土）

■場所 県営運動公園、ふれあいランド岩手、盛岡スターレーン

■参加資格 令和3年4月1日現在、満13歳以上で県内に居住地を有する身体障害者手帳の交付を受けた人、知的障がいのある人、精神障がいのある人。

■主な競技 陸上競技、卓球など

■申込期限 4月16日（金）

■申し込み・問い合わせ

保健福祉課地域福祉係（☎ 42-2111、FAX：41-1144）

※村身体障害者協会会員は、協会事務局に申し込み。

福祉活動費一部を助成

村共同募金委員会では、皆さんから協力いただいた赤い羽根共同募金を基に、さまざまな福祉事業を展開しています。

そこで、令和3年度の赤い羽根共同募金を基に、翌年令和4年度に実施を予定している村内福祉活動実施団体に活動費の一部を助成します。

■対象団体

地域福祉活動実施団体（各種福祉団体、自治会、町内会、福祉施設など）

■対象事業

地域での高齢者見守り活動、子育てサロン、地域の福祉活動、社会福祉を目的とする事業など

■募集締切 4月23日（金）

■助成の決定

申請後、審査委員会で審査の上、村共同募金委員会で審議され、県共同募金会で助成が決定されます。

■申し込み・問い合わせ

村総合福祉センター内・村共同募金委員会、村社会福祉協議会
（☎ 41-1200）

※申請用紙は村社会福祉協議会にあります。

休日当番医 (9:00～17:00)

月	日	医療機関	電話
4	4	すがわら消化器内科	23-2879
	11	金田一診療所	27-2205
	18	むらかみ医院いたみのクリニック	48-1500
	25	ほそかわ小児科クリニック	26-8100
	29	小野寺内科医院	33-2505
5	2	よこもり眼科クリニック	22-2230
	3	千葉耳鼻咽喉科医院	26-8133
	4	かわさきクリニック	26-9900
	5	おりそ内科循環器クリニック	22-2251

休日当番歯科医 (9:00～12:00)

月	日	医療機関	電話
4	4	宮沢歯科医院	46-2953
	11	国香歯科医院（裏小路）	23-2223
	18	小野寺歯科医院	33-3050
	25	岩淵歯科医院	32-2238
	29	沢藤歯科医院	25-4002
5	2	ぽっぽ歯科クリニック	31-1182
	3	菅原歯科クリニック	23-1180
	4	こしみず歯科クリニック	33-4618
	5	森川歯科医院	23-6361

ごみ収集日 4月

収集区域	瀬月内／宇堂口／泥の木／平内／妻の神戸田上・下／館の下山根／荒谷／ニツ家	鹿島／伊保内上・下川向／南田	小倉／長興寺上・下大向／五枚橋／荒田雪屋／田代／柿の木江刺家上・下／道地丸木橋／山屋／細屋
燃えるごみ	毎週水曜日	毎週木曜日	毎週金曜日
ビン・金物	4月5日㊤	4月6日㊤	4月12日㊤
空き缶	4月19日㊤	4月20日㊤	4月26日㊤
粗大ごみ	4月13日㊤		4月27日㊤
紙・プラ類	4月8日㊤	4月14日㊤	4月22日㊤

※指定日に、指定の袋で出しましょう。

㊤ 住民生活課保健衛生班 ☎ 42-2111 内線 123





戸籍だより

※2月16日～3月15日届出分・敬称略。

氏名は正字で表記しています。

ご冥福をお祈りします

澤口 誠 (65歳) 川 向
 河村 秀夫 (83歳) 江刺家下
 七戸 安次郎 (93歳) 細 屋
 本堂 健一 (51歳) 荒 谷
 橋本 キクノ (98歳) 小 倉

人のうごき

(令和3年3月1日現在)

●人口 5,582人 (-22)

男 2,670人 (-16)

女 2,912人 (-6)

●世帯数 2,175世帯 (-3)

(カッコ内は前月比)

転入 1人 (5人)

転出 9人 (11人)

出生 1人 (1人)

死亡 15人 (21人)

(カッコ内は1月からの累計)

編集後記

◆東日本大震災から早10年。あの時の生活など、昨日のこのように思い出されます。追悼集会の取材に行ったとき、防災バッグを準備していると言っていた児童がいました。いつ起こるか分からない地震…。私も見習って備えておこうと思います。◆本号を編集集中に人事異動が発表され、広報担当を離れることとなりました。九戸のことをよく知らないまま担当となり、不安に駆られながら取材に向かっていたのですが、地域の方々の優しさに支えられながらここまで来ました。3年間の短い期間でしたが、取材協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。(前川)

新型コロナワクチン接種に関する情報

現時点で予定している新型コロナウイルスワクチン接種に関する情報についてお知らせします。なお、ワクチンの供給状況により、今後変更となる可能性もあります。(3月23日現在の予定)

◎65歳以上の人への優先接種

■時期 5月10日(月)以降

■場所 村公民館

■接種方法 集団接種 ※予約が必要です

【接種までの流れ】

- ①4月中旬：対象者にクーポン券、チラシ、予約の方法などが書かれた手紙を送付します
- ②4月中旬：電話による予約を基本とします。予約方法に記載の電話番号に電話し、予約をします。

※ワクチンの確保や接種スケジュールの都合上、予約が必要となります。

③5月10日以降：村公民館でワクチン接種

④2回目のワクチン接種の予約を行います

【その他】

- ①基礎疾患のある人は、なるべく事前に主治医にワクチン接種しても差し支えないか相談しておいてください。
- ②接種体制の都合上、2回目の接種が始まると、新規の接種が行えない時期が出てきます。

【問い合わせ】新型コロナワクチン接種対策チーム (☎42-2111)

※厚生労働省では新型コロナワクチンコールセンター (☎0120-761770) を午前9時から午後9時まで開設しています。(土日祝含む)

歯のテレホン相談 無料相談受け付け

歯や口の中の健康に関する無料電話相談です。

■日時 4月19日(月)

午前10時～午後7時

※回答は午後7時以降に歯科医師より折り返しお電話します。

■電話番号 019-651-7341 (県保険医協会ヨイ歯デーテレホン相談係)

全国地域安全運動 4月6日より実施

4月6日(火)から15日(木)まで、春の全国地域安全運動が行われます。犯罪のない安全で安心なまちづくりにするため、家庭や地域のご協力をお願いします。

散歩をしながら、買い物をしながらなど、「ながら見守り」で子どもや地域の安全を守りましょう。



聖火のともるランタンと一緒に記念撮影する家族

東京五輪聖火展示

貴重な聖火に
目を輝かせて

東京2020オリンピック聖火展示は3月13日に村公民館で開かれ、村内外から約500人が来場。遠くギリシャから運ばれた貴重な聖火に目を輝かせました。



ギリシャで採火された聖火

オープニングセレモニーには、伊藤仁副村長と村内在住の聖火ランナー予定者の戸田照美さんが登場。戸田さんが聖火をともしたランタンを手に会場へ入場

し、伊藤副村長に手渡ししました。戸田さんは「各国の選手が日本で全力で試合をまっとうしてもらえよう、応援の気持ちを込めて聖火をつなげたい」と話しました。

聖火展示では、聖火がともるランタンや聖火を運搬した飛行機の模型が会場に置かれ、来場者は家族や仲間と一緒に記念写真を撮っていました。また、トーチも展示され実際に手に取って写真を撮っていました。来場した斉藤美津子さん(戸田上)は、「本物の聖火を見るいい機会だと思いましたが、小さくても明るくて希望があるような感じでした」と喜びの表情で話しました。

トーチを手に撮影する来場者

聖火ランナー予定者の戸田さん④とランタンを受け取った副村長

